

1 現計画の概要

策定までの経緯

平成13年(2005年)まで	各区ごとに対応
平成13年(2005年)	市内でヒグマによる死亡事故発生
平成14年(2006年)	「札幌市ヒグマ対策委員会」設置 「ヒグマ出没時の安全対策の手引き」策定
平成23年(2011年)	目撃情報件数が多発、 <b>市街地への出没事例発生</b>
平成24年(2012年)	ヒグマ対策の専従組織(熊対策調整担当係)新設
平成27~28年	「さっぽろヒグマ基本計画」検討委員会
平成29年(2017年)3月	「北海道ヒグマ管理計画」策定 「さっぽろヒグマ基本計画」策定

目的

札幌市域における生物多様性の保全を前提とし、ヒグマとのあつれきを軽減することで、市民生活の安全の確保を図りながら、ヒグマとの共生を目指す

対象

ヒグマの生息域である森林を有する中央区、豊平区、清田区、南区、西区、手稲区(北区、東区、白石区、厚別区は対象外)

計画の目指す姿

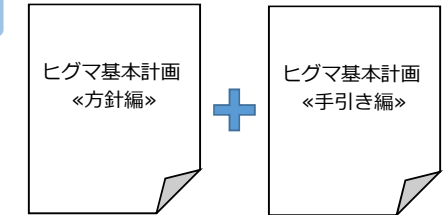
- 1 被害の防止とあつれきの軽減
- 2 市民のヒグマへの意識及び理解の向上
- 3 侵入抑制策の推進

- 市街地侵入抑制策に重点をおく

位置づけ

- 「ヒグマ出没時の安全対策の手引き」を引継ぎ、充実化
- ヒグマとの共生を進める

構成



2 改定計画の概要案

現計画策定後の主な出来事

平成29年(2017年)	家庭菜園用電気柵貸出し事業開始
令和元年(2019年)	<b>南区篠簾・藤野地区の住宅街でヒグマ連日出没</b>
令和2年(2020年)	家庭菜園用電気柵購入補助事業開始 <b>南区中ノ沢地区でヒグマ連日出没</b>
令和3年(2021年)	<b>東区市街地にヒグマ出没</b>

(R3年度第2回対策委員会より)主な検討課題

即時対応可能な体制整備

関係機関・自治体との連携強化

ゾーニング整理

市街地侵入抑制策の充実化

- 市街地、住宅地への出没事案が相次ぐ  
→市街地侵入抑制策の充実化が必要。
- 東区のような事案は過去に例がなく、今後も発生する可能性  
→出没時の体制整備も必要。
- 現行計画では想定していない事案への対応  
→対象を6区から全市に拡大  
ゾーニングの見直し

(仮称)第2次さっぽろヒグマ基本計画

将来の目指す姿

- 市民の安全・安心確保
- 生物多様性の保全

ヒグマとのあつれき軽減  
↓  
ヒグマとの共生

目指す姿を実現するための「基本目標」

- 出没対応
- 市街地侵入抑制策
- 市民への普及啓発

改定時期

令和5年3月を予定

対象

全市(市街地も含めて)

3 検討委員会の位置づけ

- (仮称)「第2次さっぽろヒグマ基本計画」策定にあたり、札幌市及びその周辺のヒグマの動向、環境変化を踏まえたうえで、施策の方向性、具体的な取組について、専門的な立場から意見をいただく
- 札幌市の行政運営上の意見聴取、意見交換及び連絡調整等を行うための「懇話会」に相当

